

『採用面接の進め方』

■ 導入

趣旨面接に当たり、応募者の緊張をほぐすため、応募者が答えやすい身近な問題から質問を始めます。いわゆるウォーミングアップの時間としてとらえるものです。

(例)

- ・ お待たせしました。どうぞ（いすに）掛けてください。お名前は〇〇さんですね。
- ・ 早朝からご苦労様でした。今朝は何時頃に起きられたのですか。（寒いのに）大変でしたね。
- ・ 試験の夢などは見ませんでしたか。
- ・ 待っている間、どんなことを考えていましたか。
- ・ 筆記試験は難しかったですか。
- ・ 応募者が多いのでびっくりしたでしょうが、気にしないでのびのびと教えてくださいね。

■ 本質問1

趣旨応募者の適性・能力を判定するための質問ですが、企業の特質、採用職種などを考慮して決めてください。自社をどの程度理解しての応募か、また本人自らの適性・能力と結びつけて応募したものであるかについて判断します。

(例)

- ・ 当社の第一印象はどうでしたか。
- ・ あなたが、当社への就職を希望されたのは、どんな理由からですか。
- ・ 受験に際し、多少当社のことを調べてみましたか。
- ・ どんな仕事をしてみたいと思いますか。
- ・ 当社に対して、どんな感じ（イメージ）を持っていますか。



■ 本質問2

趣旨配置予定の職務に必要な適性の要素を質問し、回答の内容、様子（考え方）から本人の適性及び職務についての自信などを判断します。

（例）

- ・自分の得意とする学科（科目）は何ですか。
- ・自分のセールスポイントはどんなところだと思いますか。
- ・初対面の人の顔を覚えるのは早いほうですか、それとも苦手ですか。
- ・会社や家庭を訪問し、契約を取ったり、品物を販売するような場合、初めての人と話をすることが苦にはなりませんか。
- ・仕事は、立って（座って）することが多くなりますが、大丈夫ですか。
- ・細かい数字を計算したりすることが多いですが、数字の扱いには自信がありますか。
- ・何か特技・資格はお持ちですか。また、趣味は何ですか。
（特技・資格がある場合には、種類や取得時期などについて質問します）
- ・残業があつたりしますが、体力に自信はありますか。
（専門的職業、技能工の採用の場合には、このほかにその職務についての専門的な質問をします）

■ 情報交換

趣旨従事する職務の内容、残業の有無、勤務形態、転勤、賃金等労働条件を説明し、本人の意志の強さを判断します。

（例）

- ・1ヶ月に○時間くらい残業がありますがよろしいですか。
- ・1ヶ月に○日くらい出張がありますがよろしいですか。
- ・県内・県外の営業所へ転勤することがありますが、よろしいですか。
- ・3交替勤務で時間が不規則になりますが、通勤のことも考慮に入れて大丈夫ですか。
- ・当社には寮がありません（○○町にあります）が、どうされますか。
- ・こちらからお尋ねすることは以上ですが、何か質問又は当社に入社された場合、希望・条件などがありますか。

■ 結び

趣旨気持ちを張り続けていた応募者の心を察して、労をねぎらう言葉が欲しいものです。

（例）

- ・いろいろ聞かせていただいてありがとうございました。それではこれで終わります。
- ・採否結果は○日頃までに連絡します。ご苦勞様でした。